

# 大阪早稲田倶楽部



コロナ禍で医療従事者への感謝の念でブルーにライトアップの大阪城

# 【大阪早稲田倶楽部活動理念】

会員相互の親睦と啓発をはかり、  
早稲田大学建学の精神を体し、  
社会の発展に寄与するとともに、  
母校の事業を援助し、その発展に寄与する

定 時 総 会	： 定時総会は2年続きで書面決議に	1
例 会	： 奈良医大学長にコロナを聞く	2
ゴ ル フ	： 青年部ゴルフ 和気あいあいと	3
インタビュー	： マックス佐藤さん摂陵野球部監督に	4
早 稲 女 会	： ワセジヨのZOOMお茶会	5
倶 楽 部 活 動	： 倶楽部活動実績・計画	6
ハイキング	： 万博公園で桜鑑賞ウォーク	7
写 真 部 会	： 何、それ。大阪のコテコテ ここにあり	8~9
ハイキング	： 自然満喫のウォーク	10
校 友 会	： 早稲田大学校友会大阪府支部	11
稲 雲 会	： 俳句会一年の歩み	12~15
役 員 ・ 理 事	： 2021年度役員・理事名簿	16
結 び	： 収支計算書／編集後記	17

## 定時総会は2年続きで書面決議に

大阪早稲田倶楽部の2021年度（令和3年度）の5月定時総会は、前年に続いて書面決議とし、6月中旬、反対回答なしで原案通り可決した。副理事長に荒武貞雄さん（昭和56年法）を新たに選任した。会長、理事長、他の副理事長、事務局長ら執行役員の変更はなく、新理事の承認および21年度予算、活動計画案などがはかられた。今回の総会開催見送りについて、熊澤一郎会長（昭和51年商）は以下のメッセージを議案に添えた。



熊澤一郎会長

大阪早稲田倶楽部会員 各位

新型コロナ肺炎の流行にともなう「定時総会」書面決議への変更について

拝啓、依然としてコロナ禍の最中ではありますが 会員の皆様におかれましてはご清栄のことと存じます。

また平素は皆様方より大阪早稲田倶楽部の活動にご参加ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、本来であれば5月21日に開催を予定しておりました当倶楽部の2021年度定時総会は残念ながら予定通りの開催ができませんでした。ただし、今期の総会議案の中には任期到来による理事改選の議案もあり、今後の当倶楽部の運営を円滑に進めるためにも総会の運営につきまして、役員会・理事会で協議を重ねてきました結果、昨年続き本年も以下の対応とさせていただくこととなりました。

目下の状況はまさに「非常事態」であり、規約にはこのような事態への対処規定はありませんが、6月以降の倶楽部の新年度を新体制にて円滑に進めていくために、会員の皆様からのご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

敬具

令和3年5月28日

大阪早稲田倶楽部会長 熊澤一郎

### ◆ 新理事に5人 ◆

執行役員のうち、新任の荒武さんを除く会長、理事長、副理事長、監事、事務局長は任期をあと1年残して変更はなく、任期2年の理事のうち今回、任期切れとなる34人の中で、大塚征慈郎さん（昭和38年政経）、津野英男さん（昭和40年政経）、森本充威さん（昭和40年商）の3人が退任。新たに西嶋一泰さん

（昭和58年政経）、水上ただしさん（平成3年社学）、免（ゆるし）範親さん（平成15年理工）、奥野陽子さん（平成18年人科）、徳山享宏さん（平成23年商）の5人を選任した。任期あと1年の理事は37人で、理事は計73人になる。

## 奈良医大学長にコロナを聞く



講演いただいた細井学長

倶楽部の第4回例会は5月20日（木）、奈良県立医科大学の細井裕司学長を講師に迎え、ZOOMで開催し、44人が参加しました。テーマは「なぜ世界初の4つのコロナ不活化研究ができたのか！ーオゾン、柿渋、光触媒、お茶」で、午後8時より1時間にわたり、語っていただきました。

奈良医大は2012年より早稲田大の先進理工学部より学生を転籍で受け入れています。その学生は、医師の国家試験を取得後、研究者として早稲田に戻り、生命科学などの先端分野で研究を続けています。全国初のこの仕組みを構築したのが細井学長で、田中愛治総長が早稲田大の教務部長だったところに、ともに文部科学省に足を運んで折衝を積み重ね、実現させたものです。細井学長は稲門ではありませんが、早稲田愛は強く、早稲田大学招聘研究員も務めてもらっています。また、2016年5月の大阪早稲田倶楽部の定時総会では基調講演もしていただきました。



丁寧な資料で講演もわかりやすく

この日は残念ながらリアル講演とはなりませんでした。奈良医大で進めているコロナ克服研究についてビジュアル資料を示しながら解説してもらいました。奈良医大は医学を基礎

とするまちづくり（MBT）を産学共同で進めており、この素地をもとにコロナについても不活化（ウイルスの感染力を失わせる）の先進的な発信がなされています。

オゾン、柿渋、光触媒、お茶がそれぞれコロナウイルスの感染力を弱体化させることを昨年春より教授陣が次々と検証して発表。それが世界初というだけでなく、研究室の中にとどまらず、企業ともコラボして私たちの手に届く形で製品化、実用化されていることは特筆すべきことだと思います。

柿渋ではUHA味覚糖とジョイントの「濃い柿渋のど飴」が売り出されています。別のメーカーでも商品化に向けて進んでいます。ZOOMの参加者はパソコンやスマホ越しに細井学長の熱意を感じ取っていました。

また、講演のあとは、ZOOMを通して参加者同士の画面上の懇親が行われました。3人ずつの組になって画面上で近況報告や講演の感想などを相互に話しました。10分ほどでメンバーの組み替えをし、約30分間でしたが久々の交流を果たしました。



ZOOMの画面で講演を聞く



商品化された「柿渋のど飴」

## ZOOMで懇親会

倶楽部活性化のため2020年秋に発足した例会の第5回は7月31日（土）19時よりZOOMで開催された。これまでの4回の例会は講師による講演だったが、今回は懇親・交流に重きをおき、「ウイズコロナの中、自宅から早稲田倶楽部の先輩・後輩・同期と交流!!」をテーマに実施した。

30人が参加し、4～5人のグループに分け、パソコンやスマホの画面を通してフリートーク。直に会って歓談できない中、少しでも交流を分かち合えるようにそれぞれ熱がこもった会話をかわした。10～15分でメンバーを替えてセッション。コロナに負けじと1時間半にわたって楽しんだ。お世話いただいた大西平一さん（平成4年政経）と免範親さん（平成15年理工）、ご苦労さまでした。



# 青年部ゴルフ 和気あいあいと

澤 隼(平成30年国際教養)



青年部が主催したゴルフコンペが6月5日（土）、北神戸ゴルフ場（神戸市北区）で開催されました。20代の若手から40代までの3組計10人が、親睦を目的に集い爽やかな汗を流しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年ぶりの開催となり、参加した会員たちは久々の再会を喜びました。年間約50回ラウンドするゴルフ愛好家から、久しぶりにクラブを握る人まで、マスク着用やソーシャルディスタンスの確保など感染対策を徹底し、和気あいあいとした時間を過ごしました。

私は2組目にエントリーして、川上宏さん（平成12年政経）、鳶野珠子さん（平成20年国際教養）とご一緒にプレーしました。同じ業界で働かれている先輩の川上さんには、ご自身の若手時代の働き方や現在のお仕事について、さらにゴルフとの付き合い方などのお話を伺い、今後のキャリアを築く上でつながるヒントを得られました。

鳶野さんは同じ学部出身ということもあり、履修した授業や教職員の方々の思い出話に花が咲きました。早稲田で過ごした楽しい記憶や思い出がフラッ

シュバックされ、母校に帰りたくなる郷愁の念を抱きました。

私自身はニアピンやドラコンといった賞は獲得できなかったのですが、自己ベストスコアを更新でき、ゴルファーとしての成長を実感できました。ニアピン賞をインとアウトの両方で射止めた秋元敬典さん（平成12年商）と、308ヤードをドライバーで記録されドラコン賞を獲得された山田健史さん（平成12年商）の活躍を目の当たりにし、中堅会員の層の厚さを感じました。

最後に諸先輩方に感謝と御礼を申し上げます。今コンペの開催にあたり、多くの賞品を提供くださり誠にありがとうございます。熊澤一郎会長や小西康仁理事長はじめ多くの幹部や先輩会員のご厚意で、豪華な賞品を頂戴して参加者一同は感銘を受けました。重ねて御礼を申し上げます。優勝は、山田健史さんが飾りました。

コロナで1年は大きく変わりましたが、早稲田の絆や母校愛は変わらず堅固なのだなと実感した1日になりました。

## マックス佐藤さん摂陵野球部監督に

早大野球部で監督を務めた佐藤清さん（65）（昭和53年教）が4月、早稲田摂陵高（茨木市）の野球部監督に就任されました。強打者として天理高、早大、社会人野球の日本生命で活躍。指導者としても、無名だった城西国際大（千葉）を全日本大学選手権などに導かれた実績に、「大阪の早稲田を甲子園に」と期待も高まるばかり。「高校生を指導するのは初めて」という佐藤さんに聞きました。

聞き手＝音田裕一郎（平成4年人間科学）



佐藤清監督

**Q:** 早稲田摂陵高の監督就任を要請された時の思いは。

**A:** ありがたいという気持ちですね。また、早稲田のユニフォームを着させてもらえるのですから。早大には選手としても、指導者としてもお世話になりました。もちろん、愛着も強いです。元々、3月末で城西国際大の監督を退任する予定で、その後は1年くらいはのんびりしようかと思っていたのですが、急遽、千葉から大阪にやってきました。

**Q:** 高校生の指導で気を付けていることは。

**A:** 大学生と比べると身体も細いし、野球の技術も出来上がっていないので、最初は、どうやって教えようかと悩みました。コロナ禍で部活動が一日1～2時間に制限される中、身体づくりと技術向上を併行して進めようと決めました。週2回はトレーナーを呼んで、身体づくり。技術の方は一日ひとつ、テーマを決めて教える。守備ならキャッチボールのやり方を基本的な体の使い方から教えます。ピッチャーならストライクの投げ方。あとは、バットの振り方。基本、教えるのはこれだけ。細かいことは試合をやりながら指導します。試合後のミーティングで指摘するのではなく、試合中に、時には試合を止めながら、今のお前のプレーはこうだから、こうしろなどと言って、やっています。

**Q:** 早稲田摂陵は昨秋の大阪府大会は2回戦敗退でしたが、今春は5回戦まで勝ち上がりました。

**A:** 第一弾ははじけてくれました。僕の指導に何か目新しいものを感じてくれたのでしょうか。バットマンが結構頑張ってくれて、守備も少しずつ堅実になってきました。どのチームも、教え初めて最初の一回は、はじけるんです。一回はじけた後で、次にもう一つ上にいけるかどうか。その辺を今、頑張っています。

**Q:** 今どきの高校生をやる気にさせるコツは。

**A:** 君たちは必ず変わると言い続けることですね。野手の送球がそれた時も、顔の向きや体の動きがこうだから、シュート回転がかかってそれたのだと説明し、だからこうやって投げろと教えます。で、実際に投げた球がまっすぐ返ることを実感させます。小中学生の時は体が大きくて馬力があれば勝てますが、高校から先は技術がないと勝てない。だから基本はしっかり教えます。今の君に必要なことはこれ。だから、こういう風にやってみろ、と。それで、ほら、そうなっただろう、というところまでやってあげる。

**Q:** 早稲田大への思いを語ってください。

**A:** 高3の夏、六大学野球の事務局にいた先輩に六大学に進まないかと打診され、「僕、早稲田に行きたいんです」と即答しました。その時は、それほど早大に思い入れがなくて、自分でも不思議に思ったんですけど。テレビで早慶戦を見ていて、漠然と憧れていたのかもしれませんが。早慶戦は特別な舞台でした。僕がベンチから出て、アップしに行くと、スタンドからワーッと歓声が上がって。選手冥利に尽きますよね。マスコミに取り上げられ、色んな冊子に写真が載って、華やかでした。でも、早大で得た一番の財産は、色んな人に出会って、色んな経験をさせてもらったことですね。65歳を過ぎてから、もう一度、野球をさせてもらえるチャンスがいただけたのも正にそうですし。その意味でも、早稲田摂陵で一生懸命やろうと思っています。

※夏の甲子園予選は残念ながら2回戦敗退でした。

### <メモ>

天理高では甲子園に春夏3度出場。早大では193塁の長身を生かした豪快な打撃で通算14本塁打を放つなど、「マックス佐藤」の愛称で知られた。1976年秋の早慶戦での1試合3本塁打と計17塁打は今も東京六大学のリーグ記録として残る。社会人の日本生命では日本一に貢献。早大監督は95年から4年間務めた。

## ワセジョのZOOMお茶会

白原 早織(平成11年人間科学)



4月24日(土)夜7時から倶楽部のZoomをお借りして、早稲女会の「お茶会」をしました。久しぶりの活動で、ワセジョのわくわく感、満開でした。

特にお題も決めず、近況報告などをし合う、緩い会として開催しました。早稲女会初参加の倶楽部新入会の藤本喜子さん(平成24年人間科学)をはじめ、6名の早稲女で過ごす、ほのぼのとした土曜日の夜となりました。

まずは簡単な自己紹介から始まり、Zoomの画面補正の裏技や、早稲田キャンパスの背景画像など、早稲女会ならではの話から、米糠を活用した手作り美容法、コロナワクチン接種の是非について、趣味を活かしたお仕事や、外出が難しい中でのリフレッシュ健康法、子育ての工夫や子供の進学、今の親の教育熱について、また、オンラインを活用した語学の研鑽など話

題は多岐にわたりました。

グローバルに活躍されるご様子や、コロナ禍を感じさせない、さすがの早稲女パワーに、元気百倍となりました。最後は特別ゲストの倶楽部会長の熊澤一郎さん(昭和51年商)に激励をいただき、倶楽部の今後の行事についてのお話もあり、みんなしっかりメモをしました。

参加されたみなさんに、お茶会用に用意された飲み物について何うのを失念いたしました。ちなみに、私はカフェインレス・コーヒーでした。次回は早稲女らしくビールやワインで乾杯も良いかもしれませんね。

今後も緩く定期開催していきたいと思います。また行事案内からお知らせいたしますので、お顔を出しに来て下さいね。皆さんのお元気なご様子を伺えるのを楽しみにしています。

# 倶楽部活動実績・計画 ◆◆◆

## 2020年度活動実績

1. **倶楽部財政黒字化の定着化**  
事務合理化の積極的推進 発送文書費の削減
2. **オリジナルマスクの作成・配布**  
オリジナルマスクを1,000枚つくり、全会員に配布  
コロナ禍で活動が制約される中、会員の思いを共有するため
3. **例会の実施**  
会員相互の親睦と啓発、サイレント会員の掘り起しのため  
第1回 10月26日「トヨタに未来はあるか？」  
講師：小西康仁理事長（昭和52年商） 参加44名  
第2回 12月4日「火災保険の間違い契約と自然災害に備える！傷害事故の三大要件とは！」  
講師：藤原充氏（昭和51年商） 参加72名  
第3回 2月26日「事業継承とここだけの話」  
講師：古市尚氏（昭和56年教育） 参加59名
4. **インターネットの活用**  
役員会・理事会のオンライン開催（計18回）  
一部理事の対面とオンラインを融合したハイブリッド理事会も試験的に実施  
ホームページからの入会者の対応  
ホームページのタイムリーな更新 毎月行事のカレンダー作成  
メールマガジンによる各種行事案内等の連絡・応募・出欠確認  
フェイスブックのグループページの活用  
新システムの活用 行事案内その他一斉メール 35回/年 大学からのお知らせ、会員の活動紹介ほか
5. **コロナ禍困窮学生への支援**  
大学が募る「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済困窮学生への支援」を目的とした募金に50万円を寄付。校友会大阪府支部からの寄付50万円と合わせて100万円
6. **広報委員会の設置**  
大阪早稲田倶楽部会報およびホームページの運用強化のため
7. **2020年版会員名簿作成**  
2年ごとの改訂版の発行



倶楽部でつくったオリジナルマスク

## 2021年度活動計画

1. **大阪早稲田倶楽部財政健全化の維持**  
さらなる事務処理効率化と諸経費の削減推進
2. **会員の増強による会費収入のアップ**  
現行会員573名（2021年3月末） 目標会員620人（2022年3月末）
3. **校友会支部行事との連携強化**  
共催行事である新年会、倶楽部祭への積極的な参加者募集  
オープンキャンパスへの参加（毎年7月開催）
4. **広報活動の充実**  
広報委員会の活動強化、ホームページ・SNSの運用強化、コンテンツの充実
5. **倶楽部祭、新入会員歓迎会、新年会の再開**
6. **サイレント会員の掘り起こし**  
例会の継続実施  
新システムによるサイレント会員の実態把握、連絡の強化
7. **部会の活動再開**  
Wフォーラム、関西演劇文化研究会、ハイキング部会、大阪早稲田女会
8. **青年部活動の活性化**  
在阪企業の早稲田OBとの交流会の企画立案、実施  
若手中心の勉強会を核とした異業種交流会の実施  
暑気払い、クリスマス会の実施。ゴルフコンペの開催



3密対策を施して開催のハイキング  
（2020年11月 大和郡山）

# 万博公園で桜鑑賞ウォーク

小林 一則(昭和55年政経)

ハイキング部会の春の例会が4月3日(土)、吹田市の万博記念公園で行われました。コロナ禍のもとですが、対策を施しての開催で、9人が参加しました。

もともと4月の第一土曜で、恒例の大阪早稲田倶楽部祭が森ノ宮で予定されていましたが、昨年に続いて中止となり、倶楽部員が集えるイベントを何とか開こうと企画されました。朝の集合時の検温とアルコール消毒は必須で、散策途中も密にならないよう離れて歩き、広場での昼食も三々五々、分かれて。

今年は桜の開花が早く、例年なら満開のところ、花びらが舞う中でのウォークとなりました。公園内では「桜まつり」の開催中で、広場では大道芸やプロレスなどのイベント、陶器市なども行われ、グルメ屋台も出ていて楽しさいっぱいでした。家族連れはじめ、来園者も多く、好天のもとにぎわいを増していました。

だっ広い園内では、日本庭園の散策に時間をかけました。ボランティアガイドさんに案内してもらい、非対称の樹木配置や凝った石橋、借景の妙、風景に溶け込んだ剪定松、茶室の侘びさびなどをじっくり鑑賞しました。太陽の塔の内部の見学も楽しめ、コロナ禍で疲れた心身をじっくり癒すことができました。恒例の終わってからの一献は自粛し、晴れて存分に杯を傾ける日が来ることを願い、公園を後にしました。



太陽の塔をバックに。心おきなく多く参加できますように



楽しく集えてワイワイできるのが何より



桜は見ごろを過ぎて、チューリップが満開でした

# 何、それ。大阪のコテコテ ここにあり

これぞ大阪と言うべきか。コテコテのヴィジュアルが目についたので、いくつか紹介します。コロナや猛暑でヘトヘトになっている中、一服の清涼剤に。



## 知らんけど

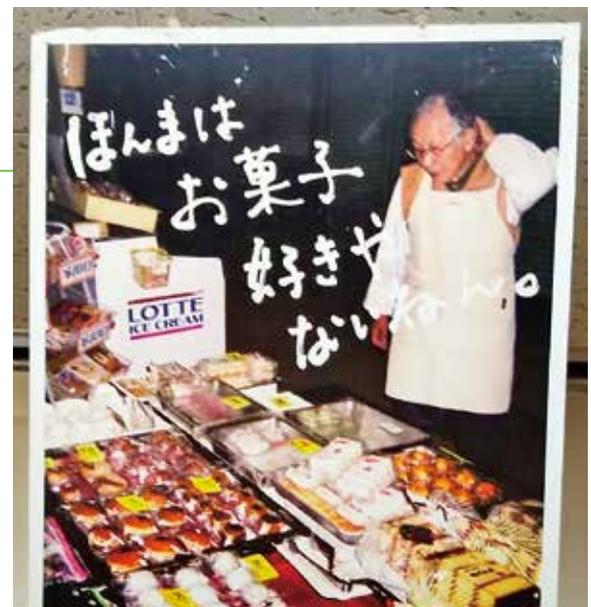
今年の大阪府警のポスター（上右）。説明の必要なし。そのままです。「知らんけど」。大阪人は普通に使ってますが、関西以外の人にはびっくりしています。「知らんねんやったら言うな！」てか。

大阪府警は柔らか頭で過去にも面白ポスター（上の左2枚）を。ちなみに兵庫県警（下）は“正統派”。



## ほんまは好きやないねん

新世界市場の菓子屋に貼られた「ほんまはお菓子好きやないねん。」とのつぶやき。この親父さんは「長生きのヒケツ? 店の残りもん食うことや」。鬼籍に入られましたが、90歳を過ぎてても店頭に立っていたそうです。





## 水のロック お湯割りで

文の里商店街（阿倍野区）の酒店のポスター。「水のロック、お湯割りでーっ!」。どないせえっちゅうねん。

## マルパクリ オリジナル

浪速区の食堂で。「マルパクリオリジナル」。パクリなんか、オリジナルなんか、どっちゃやねん。ウィスキーの水割りに凍らせたレモンをたっぷり入れて。「よそでもやってますけど、うちでも。おかしいでっか」と店主。



## この場所で 寝ないで下さい

「この場所で寝ないで下さい」。浪速区の公園の横。寝る人があるから出してんねんやろなあ。



## 世界初 1泊380円

十三の1泊380円のラブホ。「世界初」と銘打っています。日本初かもしれませんが、世界では物価も違うし……。隣の駐車場は1泊1000円です。誰か体験して来て〜。

## ようおこし

「ようおこし」。地下鉄のトイレ。もうだいぶんありますけど、慣れましたか？こんなところでおもてなしされても。



みなさんも投稿ください。お待ちしております。

# 自然満喫のウォーク

千切 智世(昭和62年商)

梅雨の晴れ間のすがすがしいお天気の中、阪急中山観音駅から本年度2回目のハイキングがスタートしました。5月22日(土)です。タイトルは「中山寺探訪とバラ、蝶そして野鳥鑑賞ウォーク」。なんと盛りだくさんの企画でしょう。

集合後まずは検温、参加者の体調を確認してから、写真撮影、中山寺参道へ。中山寺は安産祈願の腹帯をいただくお寺で有名ですが、聖徳太子の創建による我が国最初の観音霊場として古い歴史があります。西国三十三カ所の札所としても有名。

立派な山門には迫力ある仁王像、青色の五重塔が美しい伽藍です。田村昌之さん(昭和54年法)が中山寺の歴史やいわれを解説してくださいました。ご本尊のお参りを済ませ、本堂裏手から中山観音公園(星の広場)に入り、お弁当タイム。3月には梅、4月末には藤の花も楽しめるそうです。



可憐なバラに笑みがこぼれます

その後は天神川のせせらぎを聞きながら荒牧バラ園へ移動。5月のベストシーズンで、何百種もの色とりどりのバラは一見の価値があります。ヨーロッパ調の庭園にバラが咲き乱れる空間にいただけで心が華やぎます。あいにく前日に大雨が降った影響で、傷んでしまった花もありましたが、今朝咲いたばかりの可憐なバラもあり、思い思いに写真を撮って楽しみました。

再び天神川沿いに戻り、昆陽池方面へ歩いていたら、参加メンバーで最年少5歳の齋藤ひろと君(齋藤浩太郎さん(平成15年社)の息子さん)が川の中州にいたヌートリアを発見。このエリアには結構出現するらしいです。その他にも亀や鯉、鴨などにも出会え、話題は尽きず楽しい時間は続きます。

ようやく昆陽池公園に到着。ここからは自由時間となり、野鳥観察をメインにする人、併設されている昆



早い梅雨入りでしたが、お天気は満点

虫館に入る人と分れての行動。私は昆虫館見学後、野鳥観察する欲張りコースを選びました。こちらの昆虫館は蝶の舞う温室が有名で、インスタ映えする写真もとれそうなスポット。大人も子どもも楽しめる展示で思わず昆虫好きになってしまいそうな工夫がこらされています。ここでは毛虫も愛らしいキャラクターに変身。こんな環境が身近にあれば、手塚治虫さんのように虫好きの自然を愛する子どもがこれからもいっぱい出てくるかも知れませんね。

その後昆陽池へ移動し、野鳥観察スタート。水面を優雅に泳ぐ姿や、滑空する様子を写真に収めようと望遠カメラ持参の方も。昆陽池に浮かぶ島が日本列島の形をしているってご存じでしたか。昆虫館の展望デッキからも片鱗が見えるのですが、伊丹空港を離陸した際、上空からのぞくととはっきりとわかるそうです。これはチェックしないと。

自然を見ながらいっぱい歩いて、皆さんと気さくなお話も弾み、とっても楽しい一日でした。ストレス解消で免疫力もアップ。コロナ禍ではありますが、感染対策をしっかりして、これからもハイキング部会の企画を楽しんでいけたらと願っています。



ヌートリアの出現にびっくり

# 早稲田大学校友会大阪府支部

## ■校友会とは

早稲田大学の卒業生すべてで組織するOB会で、その数66万人。日本の人口が約1億2000万人なので、ざっと200人に1人がOBということになります。大阪府支部は、府内に在住、在勤する卒業生全員が会員で、約9,000人を数えます。1920年（大正9年）に誕生した大阪早稲田倶楽部とともに校友、会員相互の親睦、交流を図っています。事務局は大阪早稲田倶楽部内に置き、校友会本部からの組織活動強化費のほか、みなさんからいただいている支部会費（年間2,000円）で運営しています。

## ■役員

支部長 黒川 明（昭52政経）  
 副支部長 竹田雅幸（昭47商）  
           高松啓二（昭48政経）  
           山本竹彦（昭50政経）  
           廣富靖以（昭53政経）  
           吉江則彦（昭54理工院）  
 幹事長 小林一則（昭55政経）

## ■定期総会

日 時：2021年11月19日（金）18時～  
 会 場：大阪新阪急ホテル（阪急大阪梅田駅前）  
 講 演：田中愛治・早稲田大学総長ほか（予定）

## ■新年会

日 時：2022年1月15日（土）13時～  
 会 場：シエラトン都ホテル大阪（上本町6丁目）  
 主 催：校友会大阪府支部と大阪早稲田倶楽部

## ■評議員

大学の最高決議機関の評議員会（90人）を校友で組織。近畿選出で吉川一三氏（昭和45商＝住江織物代表取締役会長兼社長）と高梨柳太郎氏（昭和54政経＝校友会兵庫県支部長）。本部選出では大阪早稲田倶楽部の会員で小林哲也氏（昭和43政経＝近鉄グループホールディングス代表取締役会長）と角和夫氏（昭和48政経＝阪急阪神ホールディングス代表取締役会長）

## ■商議員・代議員

大学本部からの諮問審議、大学への建議を行う商議員は1,000人。代議員は校友会の最高議決機関で1,400人。大阪関係の商議員、代議員は次のみなさん。2020年6月に改選された。任期は4年。

### 商議員（大阪府選出 14人）

吉川一三（昭45商）	稻田増光（昭47政経）
竹田雅幸（昭47商）	西田隆郎（昭47商）
山本竹彦（昭50政経）	熊澤一郎（昭51商）
尾田沙智乎（昭52商）	小西康仁（昭52商）
廣富靖以（昭53政経）	島田隆史（昭54政経）
田村昌之（昭54法）	吉江則彦（昭54理工院）
古市 尚（昭56教育）	森本 宏（昭60法）

### 代議員（大阪府選出 12人）

豊島恵子（昭52法）	小林一則（昭55政経）
田中啓一郎（昭55社会学）	平岡史生（昭59教育）
嶋田泰夫（昭63政経）	種田ゆみこ（平1商）
和田浩孝（平1教）	長谷川浩之（平3商）
石原美保（平4政経）	大西平一（平4政経）
酒井敏行（平11人科）	秋元敬典（平12商）



# 俳句会一年の歩み (第610回～第612回)

## 四月句会 2020年4月21日

兼題：春暁・苗木・若鮎

春暁や二度寝の贅も旅枕  
花は葉に鬱は募ってゆくばかり  
商 平

銀鱗を躍らせ梁の上り鮎  
若鮎や梁に飛び乗り梁に落つ  
こうじ

飛花落花自肅中のひとり占め  
句作りや春眠といふ癒しあり  
こうき

春暁や俎板の音リズムカル  
パプリカを沙綾と歌ふや風光る  
けんじ

十本の櫓の苗木植ゆる僧  
那谷寺や苔の緑に春の雨  
秀 寛

稚鮎出しなじみの女将たばこ吸ふ  
山々を濃くして木曾の春深し  
だいち

筍ご飯ふっくら炊けて籠もる日に  
春暁やラジオ深夜便つけしま、  
喜 代

春暁に決意あらたに旅立し  
実の成る木楽しみ選ぶ苗木かな  
京 子

せせらぎに若鮎見つけ旅の朝  
禅庭に白摘草の四葉摘む  
敬 子

リクルート新調服に春日傘  
鬼ごっこ夢中の子らに春の泥  
松 嶋

至福なり酒の肴に桜鯛  
無い校庭の花満開に  
一 博

## 五月句会 2020年5月17日

兼題：囀目

この春は惜しむ心も虚ろなる  
窓開けて風入れて夏近きこと  
商 平

ビル谷間山並遙か初夏の空  
新しき茶碗に新茶香ばしく  
こうじ

隠り家をいでて新樹の森辺り  
家居して光る若葉と通る風  
こうき

母の日や地球の裏の街に居る  
卒業式白足袋の母後方に  
(母の日に思ふ)  
けんじ

五月晴れフタコブラクダ二上山  
白薔薇の咲き乱れ散る庵かな  
秀 寛

麦秋の十勝平野のローカル線  
二上にかたむく夕日練供養  
だいち

夏めきて醤油味濃きかけうどん  
ランドセル新品のまま夏めきぬ  
いっこう

春惜しむベンチの風の心地よさ  
校庭でつい口ずさむチューリップ  
松 嶋

故郷の八十八夜の赤だすき  
棚田にも一直線の夕日かな  
京 子

木々の香にむせぶ五月にマスクとは  
フーコーの監視社会や夏に入る  
喜 代

飛鳥路を青葉の風が流れをり  
宝山寺宿坊の軒燕の巣  
一 博

## 六月句会 2020年6月16日

兼題：梅雨寒・柏餅・紫陽花

稿に倦み眼閉づれば火取虫  
自肅なる家居そのまま梅雨籠り  
商 平

信貴生駒山影隠す梅雨曇  
帰郷して味懐かしき柏餅  
こうじ

人生の末は一色七変化  
柏餅残る一つをじゃんけんで  
こうき

あざさみに逢ひにはるばる三室戸寺  
梅雨寒や昼風呂のつい長風呂に  
けんじ

南無大師納骨法要梅雨晴間  
梅雨寒の咳の一つもコロナかと  
秀 寛

夜半過ぎて蕪村に耽る梅雨最中  
早苗田にアルプスの風気まぐれに  
だいち

梅雨寒や七味たっぷり伊勢うどん  
裏街道のれんを守る柏餅  
いっこう

兄弟で競ってたべし柏餅  
柏餅孫のほっぺにあんこ付き  
松 嶋

ひとりっ子両手いっぱいさくらんぼ  
山梔子の闇ふかきほど匂ふかな  
京 子

夏空にコントレイルという一線  
空ばかり眺め終日大夕焼  
喜 代

禅林に額の花咲く雨上がり  
バス響く墓の読経や山の寺  
敬 子

梅雨露葛城山を摸湖として  
風清香能登千枚田植え終え  
一 博

# 俳句会一年の歩み (第613回～第615回)

## 七月句会 2020年7月21日

兼題：祇園祭・風鈴・螢

禍事の兆し風鈴鳴りやまず  
疫病を被ふ祇園会とはかくや  
商平

雨降りて風鈴の音雨情あり  
祇園会や山車鉾空を突き刺せり  
こうじ

マスクして無言詣の八坂道  
夏料理女将の俳画添へてあり  
いっこう

帰宅して風鈴の音に迎へられ  
祇園会や疫病のなき世を願ふ  
こうき

砂風呂の裸足の足の覗きたり  
ギャマンの皿に乗りたる冷奴  
けんじ

チンチロリンオーケストラの風鈴市  
笹の音に乱舞す螢や信貴の山  
秀寛

マスクして湯引き鱧だす老女将  
風鈴のつましき小家朝支度  
だいち

故郷に螢飛び交ふ童うた  
風鈴の澄みし音色は友形見  
京子

ふるさとは御食国なり京へ鱧  
仰ぎ見る二上山ある夏便り  
喜代

祇園会の特等席は友の家  
やっと着く宿の風鈴鳴りにけり  
松嶋

せせらぎに螢の会瀬山暮らし  
螢舞ふせせらぎそぞろ旅の夜  
敬子

一杯の梅酒に酔いて膝枕  
補助輪が取れし幼児梅雨明る  
一博

## 八月句会 2020年8月18日

兼題：秋近し・夕焼・夜店

海いよよ冥く深めて大夕焼  
夜店の灯やさしくもまた切なくも  
商平

立ち止まり思はず見上ぐ大夕焼  
ひやかしの客に笑顔の夜店主  
こうじ

大夕焼五百羅漢の頬染めて  
終戦日ありてあれから民主主義  
いっこう

大夕焼あすの仕合せねがひけり  
残業のあとは夜店でちよいつまみ  
こうき

ゆうやけのあしたは晴れと古老いふ  
笊吊るし銭出し入れの夜店香具師  
けんじ

母想ふ目連尊者の施餓鬼かな  
僧を待つ独り住まいの盂蘭盆会  
秀寛

大夕焼瀬戸大橋を朱に染めて  
自肅してふるさと遠く盆の月  
だいち

八月を忘れず咲きし夾竹桃  
吹く風に木の葉応へし今朝の秋  
京子

大夕焼背に自転車をやつくりと  
ベランダはバケツ2杯の夕涼み  
喜代

夜店にて買ったひよこに名前つけ  
夜店へとポニーテールにした君と  
松嶋

禅庭の溝菽揺らす風そっと  
禅林に蝸鳴くや風渡る  
敬子

公園のベンチ空席秋灯  
カナカナに従い流れを下れけり  
美和子

夕焼の大極殿を朱に染めて  
夕焼の釵を脛に下山する  
一博

## 九月句会 2020年9月15日

兼題：新涼・案山子・雁

新涼を飲まんとするや濠の鯉  
明日香路を風と案山子に案内され  
商平

床の間に流水の軸秋涼し  
へのへのと得意顔して案山子かな  
こうじ

神宿る三輪山染める秋夕焼  
僧のゆく奥の院へと赤とんぼ  
いっこう

へのへのの少し傾く案山子かな  
ひぐらしの森へと続く草の道  
こうき

稲淵の棚田見下ろす大案山子  
地球儀とワイン片手の秋の夜  
けんじ

お遍路を迎える案山子阿波の里  
管笠に笈摺纏ふ案山子かな  
秀寛

一陣のコスモス群れて揺れやまず  
早立ちの粥をすすりて秋遍路  
だいち

新豆のラッパの音も遠くなり  
大空に大きくえがく雁の群れ  
京子

新涼に茶の香を深く午後のこと  
そのほとり新涼のあり小径ゆく  
喜代

奥播磨かかしの里へ一人旅  
かりがねの声聴く我は自炊中  
(自炊中かりがねの声聴きながら)  
松嶋

このたびは案山子もマスクして候  
新涼や山々優し雲軽し  
敬子

越し方へ涼風抜ける土の塀  
新涼や先ゆく背中何急ぐ  
美和子

明日香村案山子ロードは笑み溢れ  
新涼の校舎に響く子等の声  
一博

# 俳句会一年の歩み (第616回～第618回)

## 十月句会 2020年10月18日

兼題：秋一切

秋の旅なら信濃路と思へども  
嵯峨野発ち芭蕉は旅へ竹の春  
商 平

眩しさの弱まる日差し秋の空  
松茸を炊く賄いの香りかな  
こうじ

農高の校章光る案山子かな  
丹波杜氏こくある粋な新ばしり  
いっこう

緑葉も実もある柿の紅葉かな  
暮の秋暮れやすくまた酒旨し  
こうき

梵鐘の重くしずかに稲の波  
稲莖連山遠くかすみたり  
けんじ

逆打ちや功德三倍秋遍路  
秋まつり太鼓の稽古神酒届け  
秀 寛

鐘の音の湖東三山秋深し  
秋耕の実りを込めて鋤き返す  
だいち

落柿舎の門前柿の木熟れしかな  
家路へと急かれし背中秋夕日  
京 子

栗御飯ほっこり炊けて独りかな  
秋空におーいと呼びたき雲の行く  
喜 代

敬老の日孫懐妊の知らせあり  
マドンナとフォークダンスの文化祭  
松 嶋

鳥威ミニマリズムの趣味の畑  
紫はあけび古代の青と赤  
美 和子

リング挽ぐ遙か彼方に入ヶ岳  
今年また血潮が騒ぐラグビーで  
一 博

## 十一月句会 2020年11月17日

兼題：露・干柿・落穂

黄落の御堂大路に風ばかり  
大原は雅なる鄙柿簾  
商 平

ガラス窓干柿の影映りけり  
落穂持ち戦ごっこや子の歓声  
こうじ

ひっそりと阿弥陀が池の蓮の露  
王将戦棋士の長考みみず鳴く  
いっこう

紅黄衣を脱ぎつつ木々の冬めきぬ  
干柿を二段につるす軒の下  
こうき

みぎかうや古き標に露しぐれ  
例年はこの木のここに返り花  
けんじ

露払ふ金剛杖や山の寺  
秋夕日補陀落東門金剛福寺  
秀 寛

朝まだき北の大地の大根引く  
冬めきて十勝ワインのコルク抜く  
だいち

桐一葉かすかな音し落にけり  
飛火野の鹿の頭に紅葉のり  
京 子

大通り出て遅速ある銀杏かな  
ふと北に冬の虹見る淡きこと  
喜 代

干柿や祖母から笑顔でお裾分け  
干柿や民宿の茶に添えられて  
松 嶋

初産の赤ちゃん抱いた一茶の忌  
猫じゃらし直しなしよと鼻の先  
美 和子

吉野山溪谷浴いに紅葉狩り  
山頂の地蔵は露にまみれたり  
一 博

## 十二月句会 2020年12月15日

兼題：冬館・手袋・枯菊

吾輩はさて何者ぞ漱石忌  
潔く枝払はれて大冬木  
商 平

夕暮れにピアノの響き冬館  
鉢植の菊枯れてなお直立す  
こうじ

馬舎残す元華族住む冬館  
帰省せぬ子に手袋を文添へて  
いっこう

蜜から疎へとらしからぬ師走かな  
青シート架けたるままの冬館  
こうき

御仏飯湯気のすぐ消ゆ冬至かな  
曳舟ののぼる土佐堀冬夕日  
けんじ

墓じまい骨壺に満つ冬の水  
仏前の小菊の束の枯れにけり  
秀 寛

自死させて悔やむこころの漱石忌  
船乗りの老ひて岬の冬館  
だいち

冬館庭師の法被みえかくれ  
柚子風呂に四肢をのばせし長湯かな  
京 子

焚くを待つ枯菊色を残しけり  
枯菊の音立て焚かれみる真昼  
喜 代

旅先でシャッター一切し冬館  
枯菊や残花漂う焚火あと  
冬館玄関先に招き猫嶋  
松 嶋

クリスマスディナー揺らぎつ吾子に乳  
古里は異次元ポケット冬館  
美 和子

赤レンガ明治のロマン冬館  
境内の大道芸も無い師走  
一 博

# 俳句会一年の歩み (第619回～第621回)

## 一月句会 2021年1月19日

兼題：新年一切

恋の句も地震の句も出よ初句会  
初句会傘寿澆刺喜寿元気  
商平

信貴生駒茜に染めて初明かり  
去年今年俳句作りで過ぎしけり  
こうじ

永平寺電に大鍋初炊ぎ  
二日はや鍛冶屋の音に目覚めけむ  
いっこう

一筋の風飛びぬけて三日かな  
人生の種々を読みとる年賀状  
こうき

沙綾の胸少しふくらむ初湯かな  
初風呂にオフェーリアのごと横たはる  
けんじ

法螺の音に太鼓が和する初詣  
初日の出大和路眼下信貴の山  
秀寛

日だまりにひたむきに咲く福寿草  
朝まだき煮こぼれさせて年新た  
だいち

初日の出鯨もみてる水平線  
七草を声だしきざみ粥づくり  
京子

しみじみと七日の粥のうす緑  
初風の島をこころに籠りけり  
喜代

孫からの初電話にテレビ消し  
初稽古ぜんざい目当てに参加せり  
松嶋

笑門の太文字招く初笑ひ  
椀底の雑煮の餅の頑なさ  
美和子

## 二月句会 2021年2月16日

兼題：薄氷・立春・義仲忌

義仲忌や淡海の雨のやはらかく  
薄氷の溶ける刹那のほの明かり  
商平

斑雪高野の峰や見え陰れ  
春立つや空に一筋飛行雲  
こうじ

薄氷をよけて露地ゆく京舞妓  
春灯や丸太屋根裏神社礼  
いっこう

沫と消ゆ旭将軍義仲忌  
縁側で一人珈琲春浅し  
こうき

しのめや舩にまとはる薄氷  
義仲忌芭蕉の「むざんやな」浮かぶ  
けんじ

節分会三密避けて静かなり  
義仲忌芭蕉も眠る義仲寺や  
秀寛

御嶽をあおぐ旗揚げ義仲忌  
旗揚げし木曾をまぶたに義仲忌  
だいち

野焼にも哲学ありと老婆云ふ  
義仲忌歴史ひもとくひと日なり  
京子

修羅物は巴の霊や義仲忌  
デカメロン生れるコロナの春なるか  
喜代

退社時の外の明るさ春来たり  
晴嵐の粟津を巡る義仲忌  
松嶋

境内の黙薄氷の割るる音  
きかん気のままに大人に薄氷  
美和子

八ヶ岳遙か句こうに雪間草  
節分会鬼棲む我が身知る日なり  
一博

## 三月句会 2021年3月16日

兼題：春一番・雪解・紅梅

みちのくの地震十年の雪解風  
紅梅の濃ければ空のなほ蒼く  
商平

京の露地紅梅一枝彩りて  
春一番道頓堀の屋台揺れ  
こうじ

鬼瓦睨む城下に春一番  
万葉の恋歌哀し梅紅し  
いっこう

紅梅やここに幸あり青い空  
北面をすて歌の道西行忌  
こうき

西行忌友の遺作をひもどけり  
落椿そここことなき巨勢の路  
けんじ

ハルカスを眼下に散歩春一番  
雪解けの水も吐き出す那智の瀧  
秀寛

十勝野に風吹きわたり麦青む  
春一番吹き荒れし夜の月ひとつ  
だいち

紅梅咲く終の住処に共白髪  
雪解水瑞穂の国の糧となり  
京子

雪げして美しきもの表はる、  
鉢植の紅梅ジャズは“テイクファイブ”  
喜代

春一番レガッタ艇を止めにけり  
朝練で雪解の路を颯爽と  
松嶋

未読メール一斉削除春疾風  
雪庇より雪解け水はみちのくへ  
美和子

春一番二列で歩くランドセル  
春一番お宮参りの赤子抱き  
一博

# 2021年度役員・理事名簿

会 長	熊澤 一郎	昭51年商
理 事 長	小西 康仁	昭52年商
副理事長	尾田沙智乎	昭52年商
副理事長	田村 昌之	昭54年法
副理事長	小林 一則	昭55年政経
副理事長	荒武 貞雄	昭56年法
副理事長	森本 宏	昭60年法

副理事長	和田 浩孝	平1年教育
副理事長	石原 美保	平4年法
監 事	岩崎 勇作	昭47年商
監 事	種田ゆみこ	平1年商
事務局長	秋元 敬典	平12年商
事務局担当理事	大西 平一	平4年政経
会計担当理事	酒井 敏行	平11年人科

新任理事  
(任期2年)  
36名

河田 一彦	(昭42商)
揚野 寛	(昭43政経)
小林 哲也	(昭43政経)
廣末 雅昭	(昭43理工)
田尾 秀寛	(昭44商)
向井 利明	(昭44政経)
今澤 哲朗	(昭45政経)
山澤 俱和	(昭46法)
西田 隆郎	(昭47商)
角 和夫	(昭48政経)
保田 洋三	(昭48法)
伊藤 馨	(昭51政経)
井上 敏彦	(昭51文)
熊澤 一郎	(昭51商)
藤原 充	(昭51商)
小西 康仁	(昭52商)
佐藤 光宏	(昭53理工)
小林 一則	(昭55政経)
田中啓一朗	(昭55社会学)
西高 一泰	(昭58政経)
稲部 勝博	(昭60商)
大橋 哲也	(昭60政経)
森本 宏	(昭60法)
千切 智世	(昭62商)
和田 浩孝	(平1教育)
水上ただし	(平3社会学)
大西 平一	(平4政経)
古田 哲也	(平4政経)
梅原 秀昭	(平5法)
前田 修	(平6政経)
酒井 敏行	(平11人科)
免 範親	(平15理工)
伊丹香寿美	(平16法)
藤田沙穂里	(平16法)
奥野 陽子	(平18人科)
徳山 享宏	(平23商)

現任理事  
(任期1年)  
37名

吉川 一三	(昭45商)
稲田 増光	(昭47政経)
小泉じゅん子	(昭47文)
竹田 雅幸	(昭47商)
野村 公平	(昭47法)
木下 齐	(昭48商)
奥野 富雄	(昭49社会学)
尾田沙智乎	(昭52商)
豊島 恵子	(昭52法)
島田 隆史	(昭54政経)
田村 昌之	(昭54法)
荒武 貞雄	(昭56法)
古市 尚	(昭56教育)
吉田 源三	(昭56政経)
費川 芳郎	(昭57教育)
河野 一博	(昭59社会学)
中村 雄一	(昭59理工)
平岡 史生	(昭59教育)
大久保 滋	(昭60政経)
原田 裕子	(昭60政経)
滋野 雅之	(昭63理工)
嶋田 泰夫	(昭63政経)
前野 岳洋	(昭63法)
横山 利治	(昭63理工)
荒川 雄次	(平1法)
大塚 紹子	(平1文)
石原 美保	(平4法)
音田裕一郎	(平4人科)
関 寛之	(平8理工)
白原 早織	(平11人科)
秋元 敬典	(平12商)
北側 元之	(平14教育)
北垣 博章	(平15政経)
柴田 英和	(平17政経)
北野 后子	(平18法)
松井瑛太郎	(平22法)
中谷 睦	(平23教育)

## 収支計算書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

収入の部		
会 費	7,538,950	
寄付金	0	
出版協力金	0	
事業収入	0	
雑収入	380,058	
当期収入合計	7,919,008	
支出の部		
事業費	事業費	553,000
	印刷費	356,400
	会員名簿	551,100
	小 計	1,460,500
経費	給料・諸手当	2,963,330
	家賃・共益費	1,281,826
	通 信 費	411,787
	消耗品費	1,195,827
	振替手数料	47,443
	慶弔接待費	10,736
	雑 費	335,280
	寄 付 金	500,000
	小 計	6,746,229
	当期支出合計	8,206,729
当期収支差額	▲ 287,721	

(単位・円)

## 編集後記

広報委員会：小林 一則

倶楽部の活動も制限される中で、じっと我慢のこの1年2年です。倶楽部総会も2年続きでリアル開催なし、新年会や倶楽部祭、新人歓迎会も参集できず、ほんと辛いですね。この年誌も、動きがない中での編集に四苦八苦でしたが、みなさんのご協力で何とか形になりました。

大阪の街のポスターや看板、おもしろいですね。「大阪早稲田倶楽部もすごいねんで!」「知らんけど」と言ってみたくですね。ハイキング部会も3密対策をきっちり取りながらの開催で喜ばれています。例会やWフォーラムの講演会もZOOMで奮闘です。みなさんと少しでもつながるようにと工夫していただいているのに感謝です。ワクチン接種も進んで、これから冬眠が覚めて心おきなく懇親できることを願うばかりです。

## &lt;表紙のことば&gt;

新型コロナウイルス感染者の治療にあたる医療従事者への感謝の気持ちを示し、特別にブルーにライトアップされた珍しい大阪城です。(撮影：2020年5月)

酒井敏行 (平成11年人科)

## 大阪早稲田倶楽部



年誌 vol.176 発行：2021年8月

〒530-8310 大阪市北区芝田1-1-35 大阪新阪急ホテル3階

TEL：06(6377)2002

FAX：06(6377)2003

URL：http://www.osakawaseda.jp

mail：125@osakawaseda.jp

倶楽部開館時間：月～金(祝日、年末年始・お盆を除く)

11:00～17:00

編集／大阪早稲田倶楽部広報委員会 大阪読売サービス(株)  
印刷／大阪読売サービス(株)

